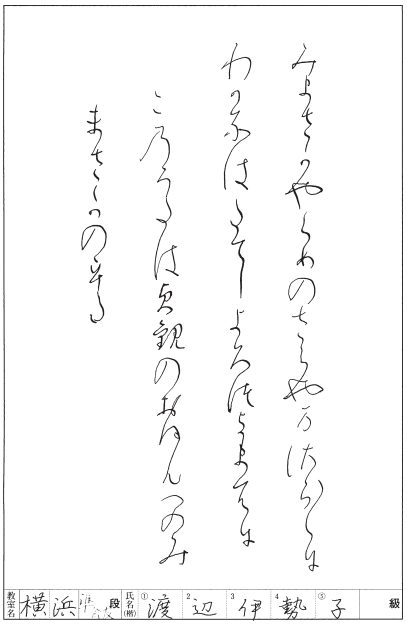
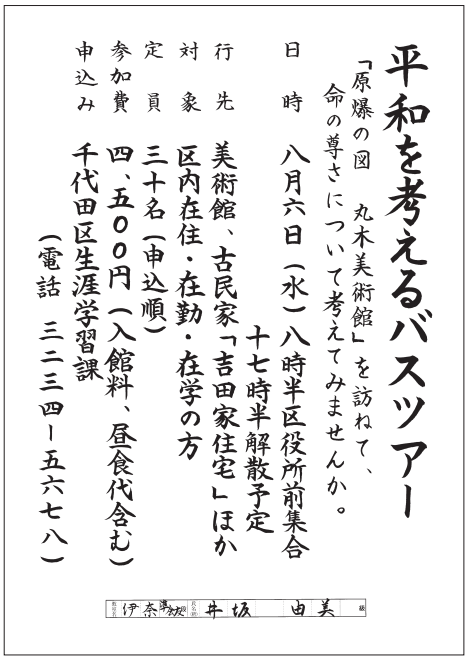
今月の模範作品

規定課題



横浜　渡辺伊勢子　行の流れよく、潤渇の変化が実に見事。ペンの開閉も毛筆の運筆のごとく素晴らしく、高野切第一種を忠実に表現した。　評　福原　溪春

筆ペン

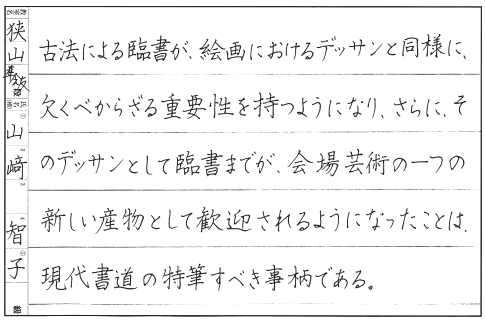


伊奈　井坂　由美　掲示文の要素をすべて含んだ作。余白の取り方が緻密で、漢字の多さを全く感じさせない。今月の白眉。

評　江口　春陽

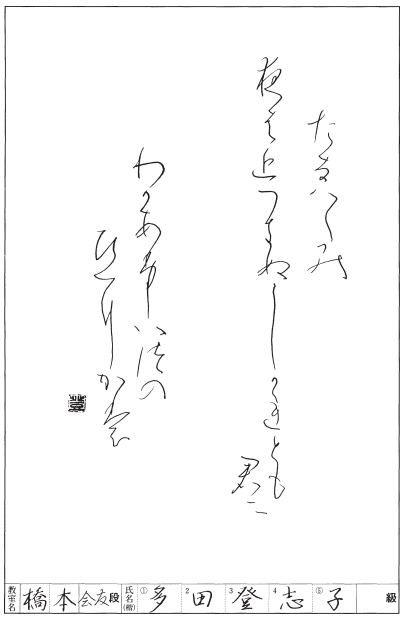
随意課題

ボールペン



狭山　山﨑　智子　骨格のしっかりした楷書体に合わせた仮名書きがよく調和している。また、行の中心を揃えた横への流れも自然で美しく、大変垢抜けしている。　評　森　嶺雲

つけペン

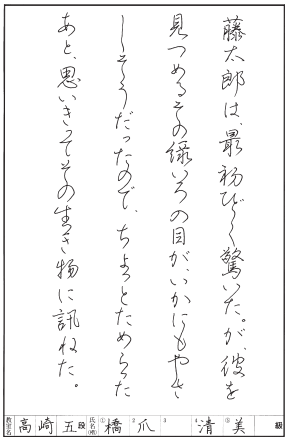


橋本　多田登志子　てらいなくシンプルにまとめたことで練度ある線質の上品さが際立つ作となった。見事。　評　黒河内月倫

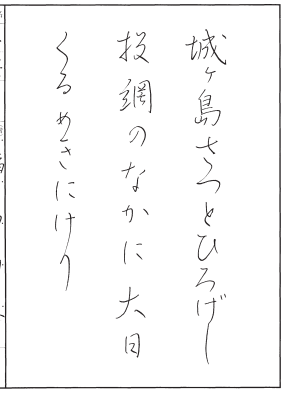
9月提出競書作品の写真版作品は、
9月25日よりホームページに掲載されます。

今月の秀逸作品 ―― 規定課題・随意課題 ――

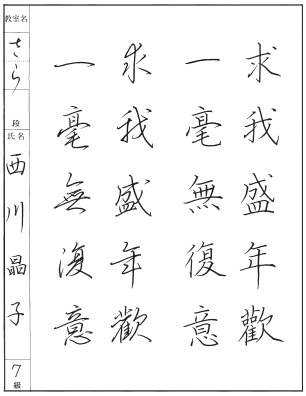
（　）内は選評執筆者です。



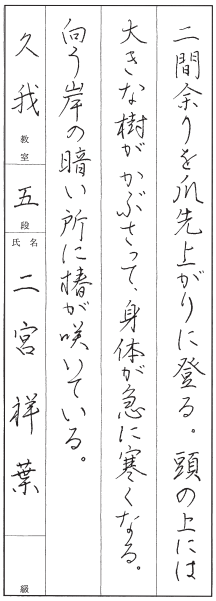
高崎　橋爪　清美　筆勢豊かで躍動感のある線質で、行間の響き良く、気力の充実した作品。（黒河内月倫）



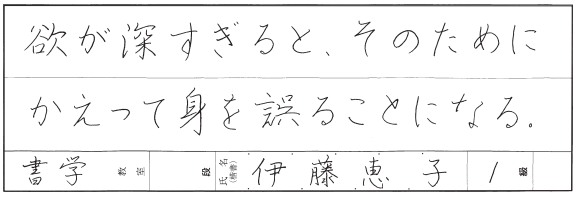
香桜　福島　由恵　強弱を生かした線質が素晴らしい。連綿も無理なく書けていて、全体のバランスがとても良い。（奈良　孝嬉）



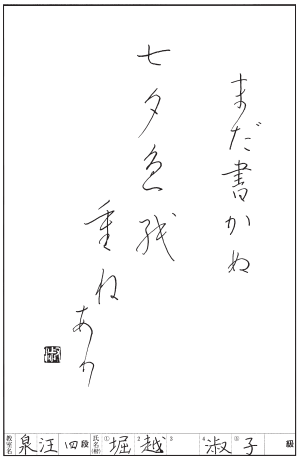
さら　西川　晶子　気脈が通じた引き締った字形で、全体にバランスのよく取れた洗練された作である。（森　嶺雲）



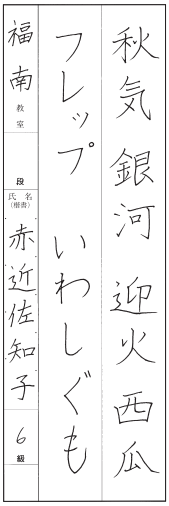
久我　二宮佐和子　ペン先を上手に開閉させて書かれた線による奥行きのある文字表現が素晴らしい。（御園生藍珠）



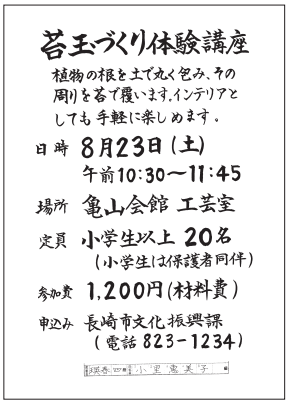
書学　伊藤　恵子　字形よく丁寧な運筆が光る。基本を忠実に学んできた証。見事。（江口　春陽）



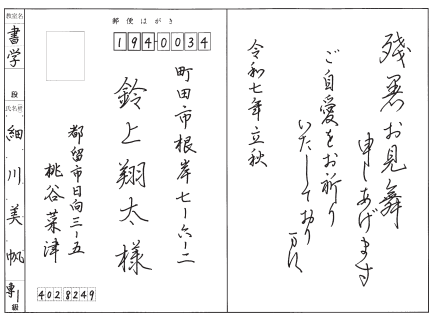
泉汪　堀越　淑子　力みのない文字に、行間の余白のバランスが見事である。氏名を行書にすると、なお良い。（奈良　孝嬉）



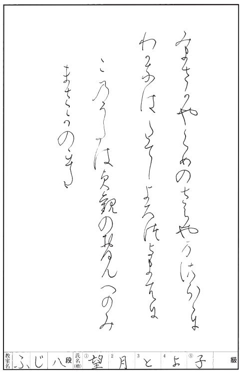
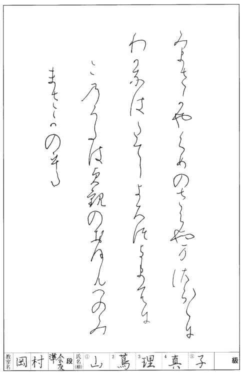
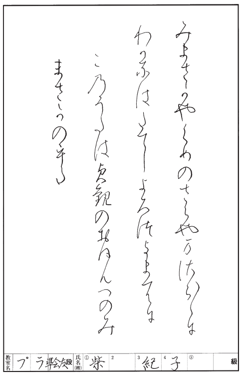
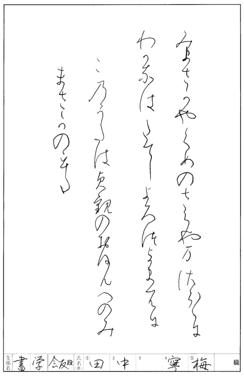
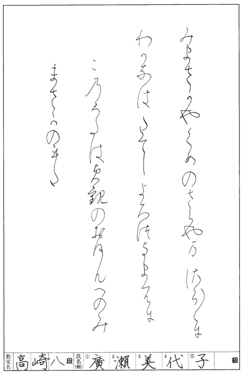
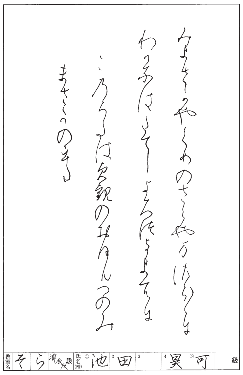
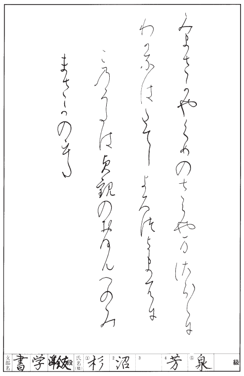
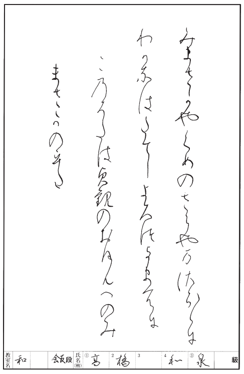
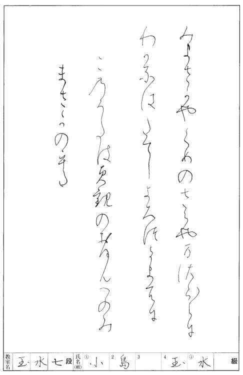
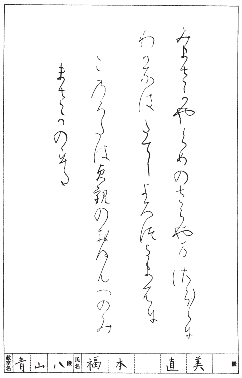
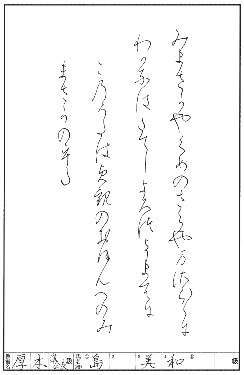
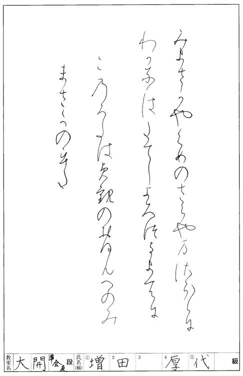
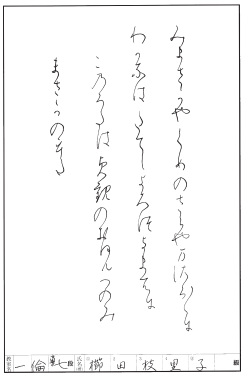
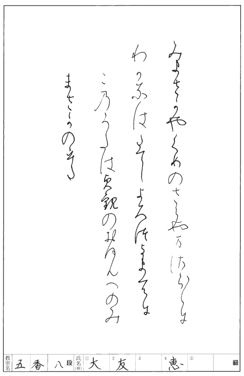
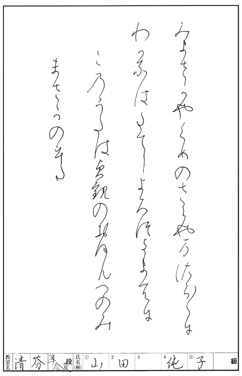
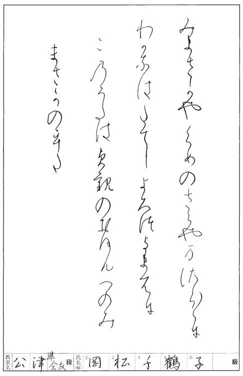
福南　赤近佐和子　柔らかく沈着な線が美しい。穏やかで温かみ溢れる、安定感抜群の秀逸作。（荒谷由美子）



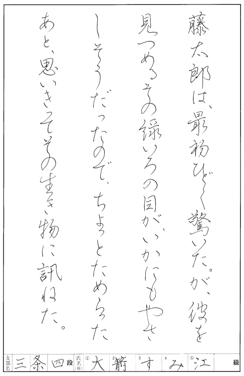
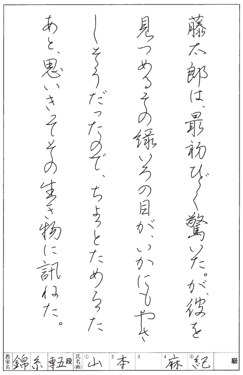
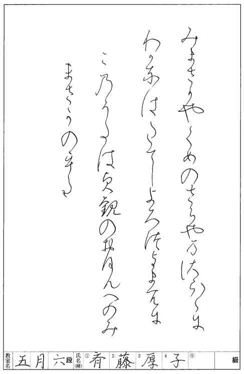
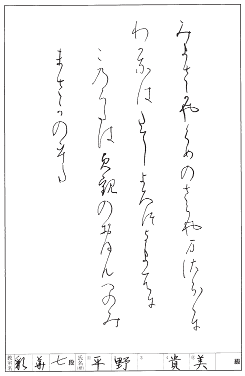
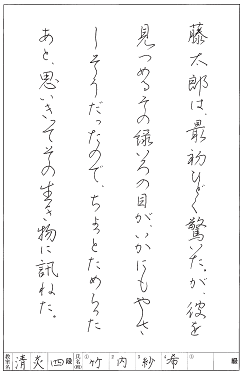
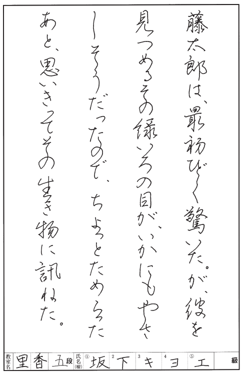
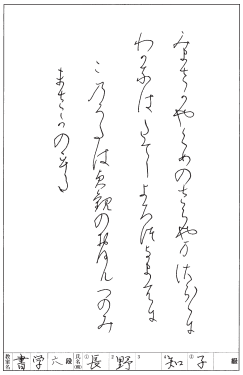
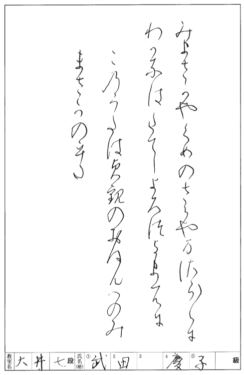
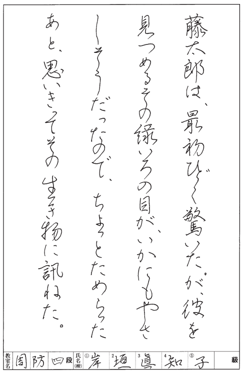
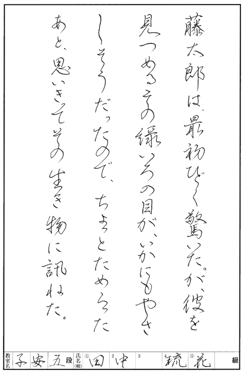
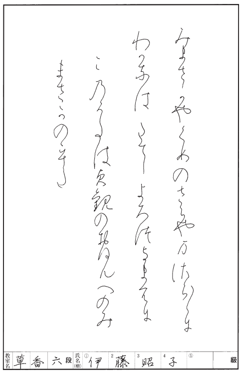
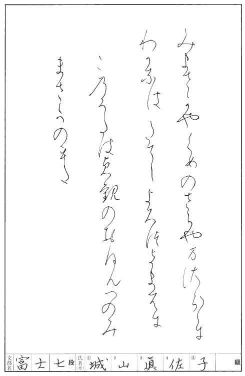
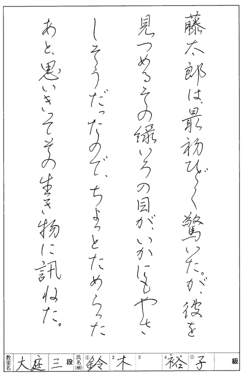
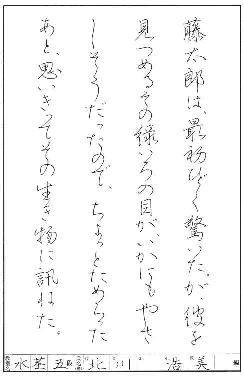
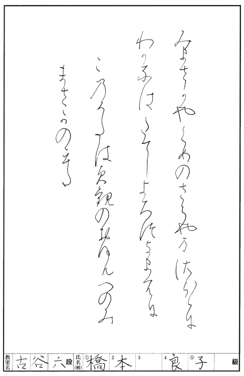
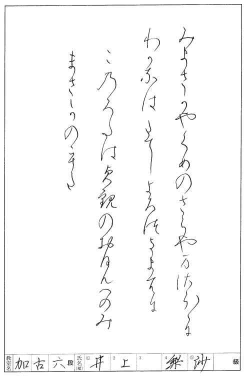
瑛春　小里恵美子　太細の表現、余白の取り方に工夫が見られ、鋒先の効いた文字が凛々しく風格を感じる見事な掲示文。（佐藤　香蓮）

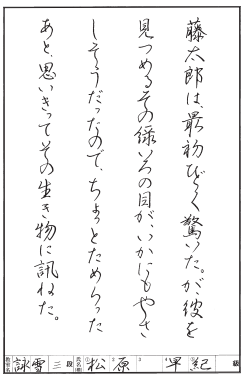


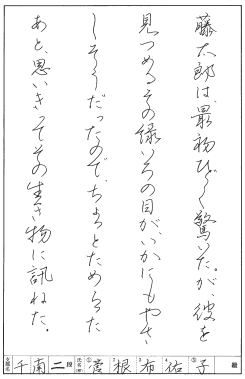
書学　細川　美帆　安定したリズムで、最後まで丁寧に書かれている。文字の大小・余白の使い方も良い。（御園生藍珠）

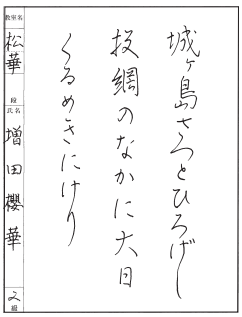

















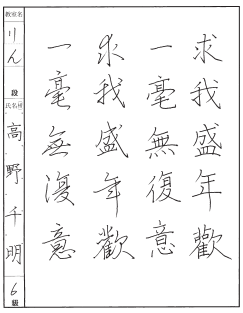
専攻コース

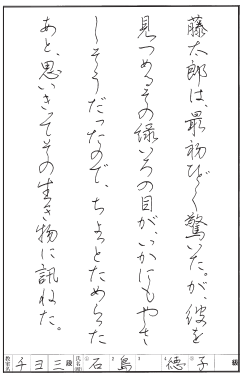

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。



藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。



藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。



藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑いろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。



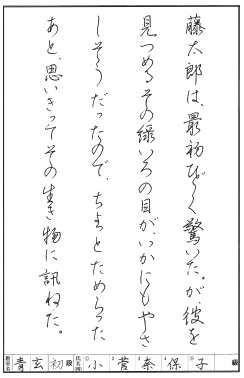

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

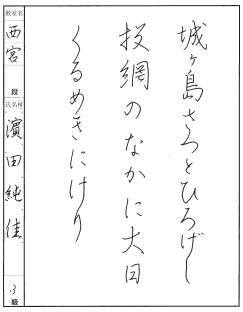

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

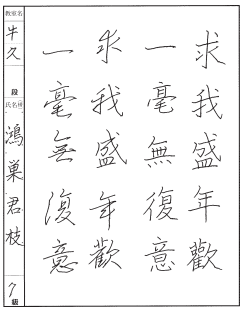

城ヶ島さろとひろげし
投網のなかに大日
くるめきにけり

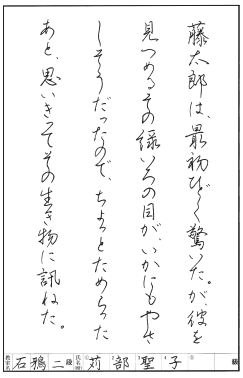

求我盛年歡
一毫無復意
氷我盛年歡
一毫無復意

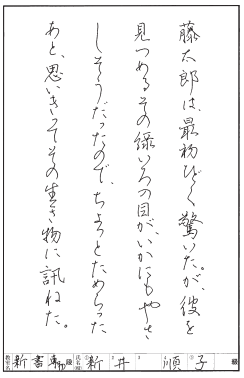

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

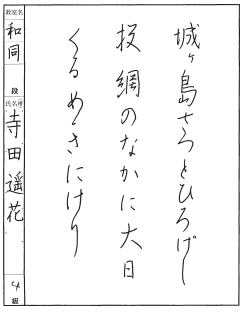

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

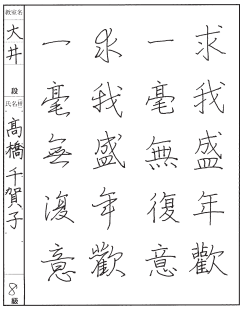

城ヶ島さろとひろげし
投網のなかに大日
くるめきにけり

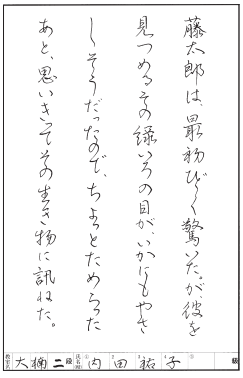

求我盛年歡
一毫無復意
氷我盛年歡
一毫無復意

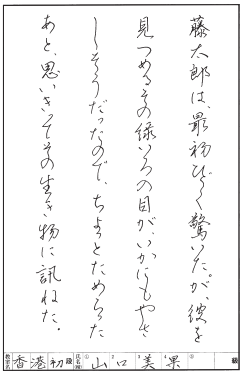

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

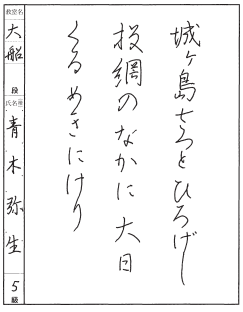

藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。

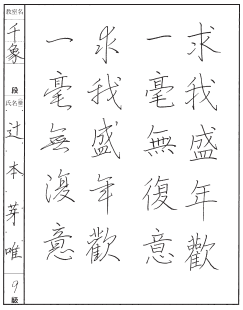

城ヶ島さろとひろげし
投網のなかに大日
くるめきにけり


求我盛年歡
一毫無復意
氷我盛年歡
一毫無復意


藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。


藤太郎は、最初びっくり驚いたが、彼を見つめるその緑ろの目が、いかにもやさしそうだったので、ちょっとためらったあと、思いきってその生き物に訊ねた。


城ヶ島さろとひろげし
投網のなかに大日
くるめきにけり


求我盛年歡
一毫無復意
氷我盛年歡
一毫無復意

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
書学 教室 五 段 氏名(楷書) 安田綾乃 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
柏西 教室 一 段 氏名(楷書) 徳田恵子 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
奈良 教室 三 段 氏名(楷書) 穂積愛理 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
川口 教室 二 段 氏名(楷書) 杉山由美 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
里香 教室 段 氏名(楷書) 木下麻子 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
香港 教室 初 段 氏名(楷書) 喜納麻希 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
英花 教室 五 段 氏名(楷書) 太田由美 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
墨美 教室 四 段 氏名(楷書) 西山潤子 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
水茎 教室 三 段 氏名(楷書) 松倉由紀子 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
紀北 教室 二 段 氏名(楷書) 西幡香織 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
千葉 教室 初 段 氏名(楷書) 高橋さやか 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
高崎 教室 初 段 氏名(楷書) 吉田容子 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
山田 教室 五 段 氏名(楷書) 川田奈美 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
三割 教室 四 段 氏名(楷書) 苅間澤勇人 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
詠雷 教室 三 段 氏名(楷書) 今井倫子 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
大楠 教室 二 段 氏名(楷書) 内田空良 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
千蘭 教室 初 段 氏名 斉藤実千代 級

二間余りを爪先上がりに登る。頭の上には
大きな樹がかぶさって、身体が急に寒くなる。
向う岸の暗い所に椿が咲いている。
和 教室 初 段 氏名(楷書) 石坂美重子 級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
福南 教室　氏名（楷書） 井上佐和子　2級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
和同 教室　氏名（楷書） 古川由香子　2級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
沖縄 教室　氏名 花城純子　2級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
春日 教室　氏名（楷書） 岡部広美　3級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
大楠 教室　氏名（楷書） 川添笑子　3級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
巳未 教室　氏名（楷書） 石橋真理子　3級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
墨美 教室　氏名（楷書） 石井恵美　3級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
和 教室　氏名（楷書） 渡邊一代　3級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
高崎 教室　氏名（楷書） 青木美恵子　4級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
若松 教室　氏名（楷書） 島田眞弓　1級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
プラ 教室　氏名（楷書） 髙橋久美子　1級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
香月 教室　氏名（楷書） 齊藤彩　1級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
詠雪 教室　氏名（楷書） 杉山葉月　1級

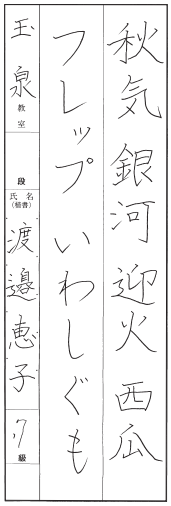
欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
小出 教室　氏名（楷書） 櫻井雅子　1級

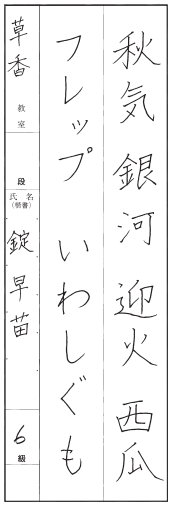
欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
葵心 教室　氏名（楷書） 川田詠美子　1級

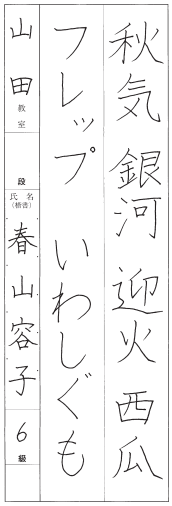
欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
草花 教室　氏名（楷書） 浦野美由紀　2級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
大藤 教室　氏名（楷書） 石川澄恵　2級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
月倫 教室　氏名（楷書） 梅原明子　2級

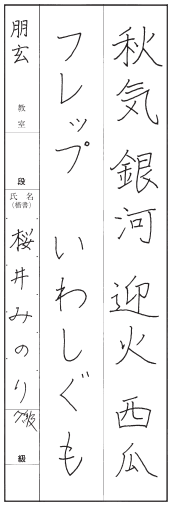

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
玉泉教室 段 氏名(俳書) 渡邊恵子 7級

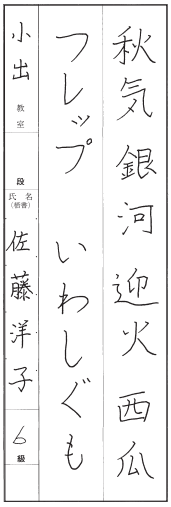

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
草香教室 段 氏名(俳書) 錠早苗 6級

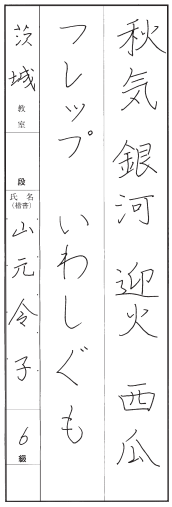

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
山田教室 段 氏名(俳書) 春山容子 6級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
書学 教室 段 氏名(俳書) 永渕敦子 4級 出品番号

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
桃 教室 段 氏名(俳書) 大出和紀 4級 出品番号


秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
朋玄教室 段 氏名(俳書) 桜井みのり 6級


秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
小出教室 段 氏名(俳書) 佐藤洋子 6級

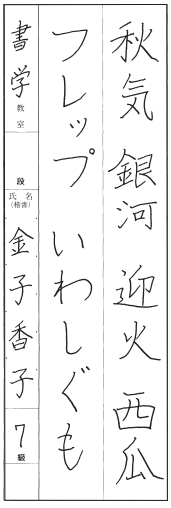

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
茨城教室 段 氏名(俳書) 山元令子 6級

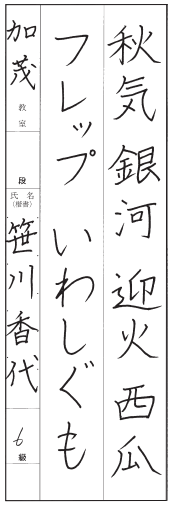
欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
泉の 教室 段 氏名(俳書) 佐々木優韻 4級 出品番号

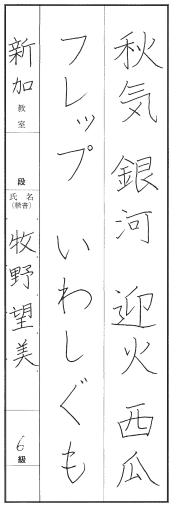
欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
70 教室 段 氏名(俳書) 平塚早輝 4級 出品番号

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
京玉 教室 段 氏名(俳書) 酒井英隆 5級 出品番号

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
水茎 教室 段 氏名(俳書) 河合美由紀 5級 出品番号


秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
書学教室 段 氏名(俳書) 金子香子 7級


秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
加茂教室 段 氏名(俳書) 笹川香代 6級

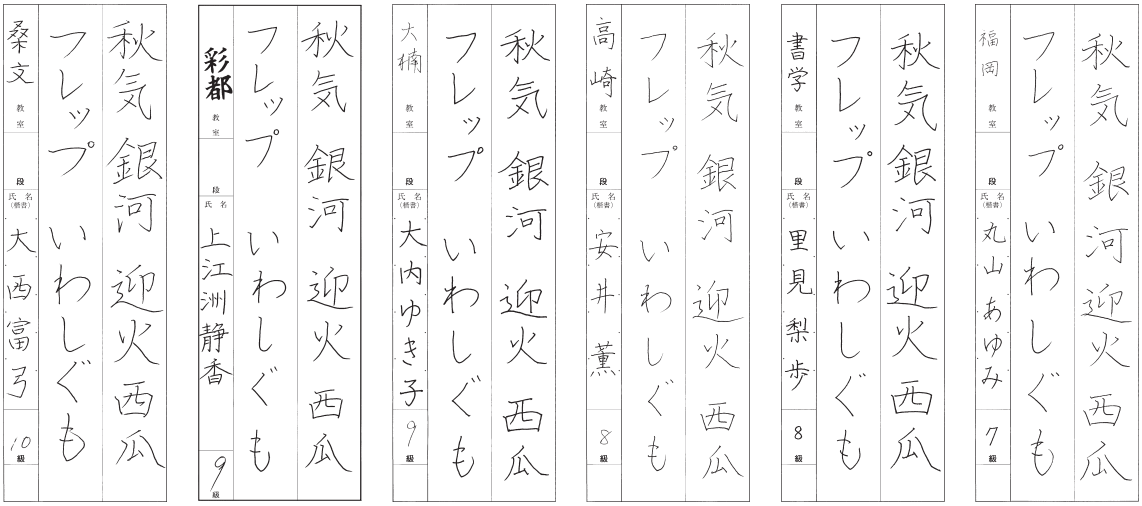

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
新加教室 段 氏名(俳書) 牧野望美 6級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
載月 教室 段 氏名 若菜夏来 5級

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる
堺東 教室 段 氏名(俳書) 麻野彩夏 5級 出品番号

欲が深すぎると、そのために
かえって身を誤ることになる。
ルネ 教室 段 氏名(俳書) 宗村幸 5級 出品番号

今月の優秀作品


秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
福岡 教室 段 氏名(俳香) 丸山あゆみ 7級

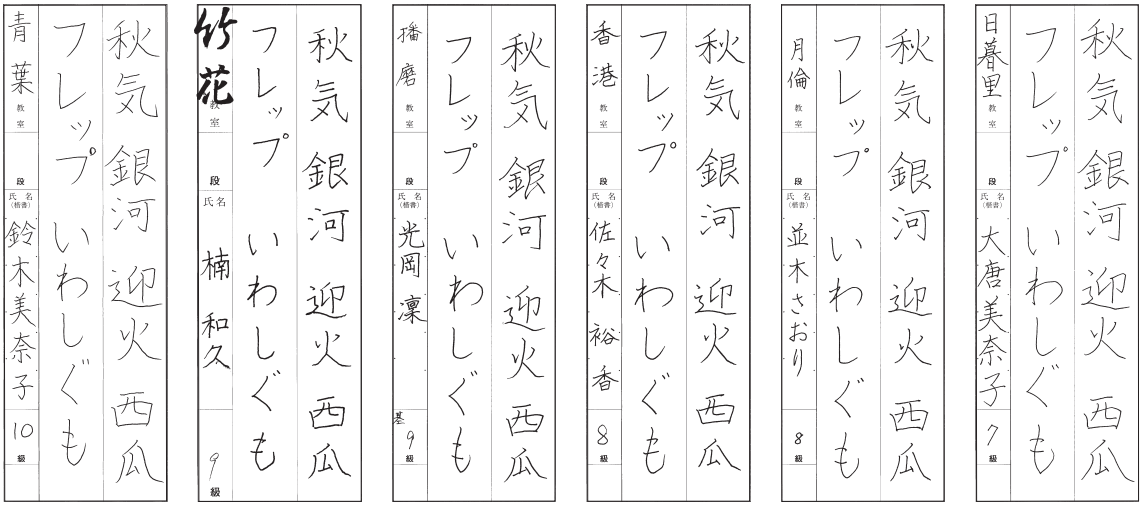
秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
書学 教室 段 氏名(俳香) 里見梨歩 8級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
高崎 教室 段 氏名(俳香) 安井薫 8級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
大楠 教室 段 氏名(俳香) 大内ゆき子 9級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
彩都 教室 段 氏名 上江洲静香 9級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
桑文 教室 段 氏名(俳香) 大西富弓 10級


秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
日暮里 教室 段 氏名(俳香) 大唐美奈子 7級

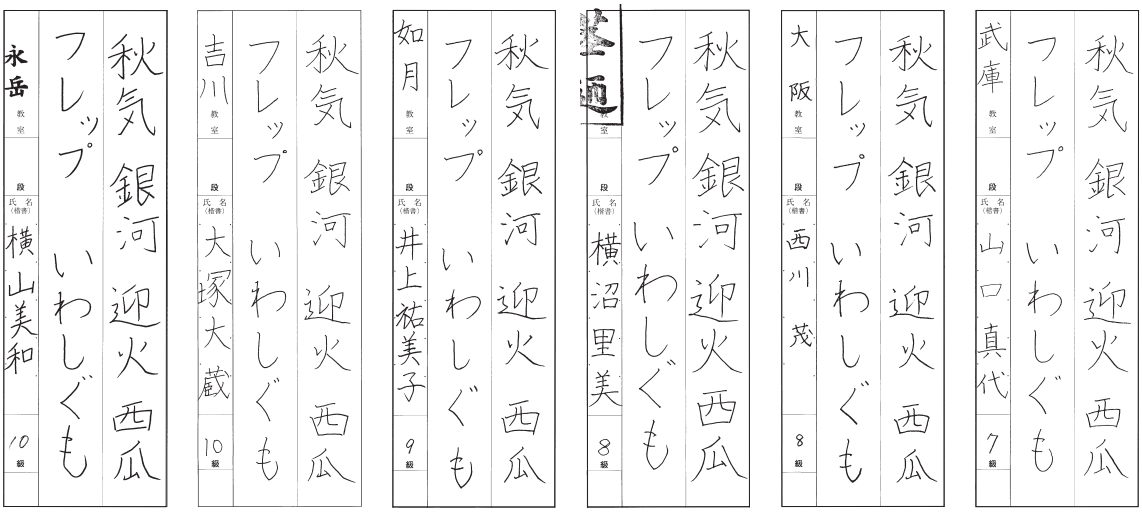
秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
月倫 教室 段 氏名(俳香) 並木さおり 8級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
香港 教室 段 氏名(俳香) 佐々木裕香 8級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
播磨 教室 段 氏名(俳香) 光岡凛 基 9級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
竹花 教室 段 氏名 楠和久 9級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
青葉 教室 段 氏名(俳香) 鈴木美奈子 10級


秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
武庫 教室 段 氏名(俳香) 山口真代 7級

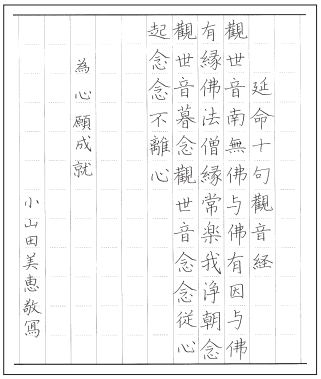
秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
大阪 教室 段 氏名(俳香) 西川茂 8級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
[illegible] 教室 段 氏名(俳香) 横沼里美 8級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
如月 教室 段 氏名(俳香) 井上祐美子 9級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
吉川 教室 段 氏名(俳香) 大塚大蔵 10級

秋気銀河迎火西瓜
フレップいわしぐも
永岳 教室 段 氏名(俳香) 横山美和 10級


摩訶般若波羅蜜多心経
観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舎利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不浄
不増不減是故空中无色无受想行識无眼
耳鼻舌身意无色声香味触法无眼界乃至
无意識界无无明亦无无明尽乃至无老死
亦无老死尽无苦集滅道无智亦无得以无
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故

延命十句観音経
観世音南無佛与佛有因与佛
有縁佛法僧縁常楽我浄朝念
観世音暮念観世音念念従心
起念念不離心

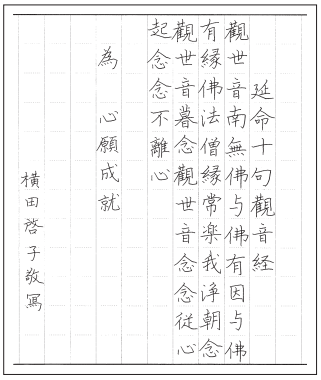
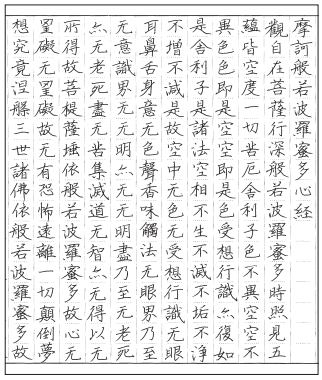
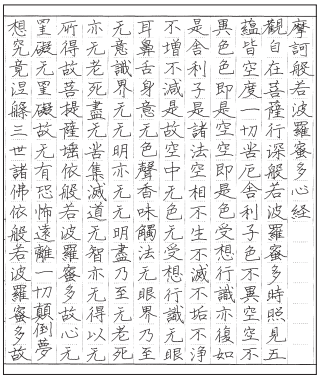
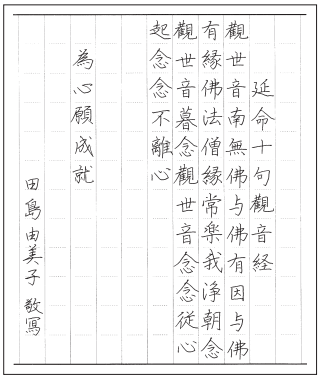
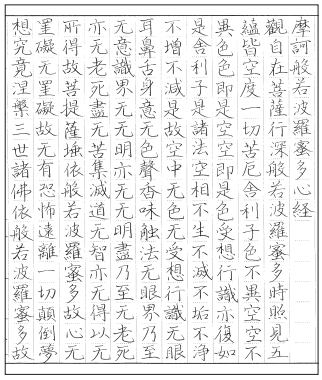
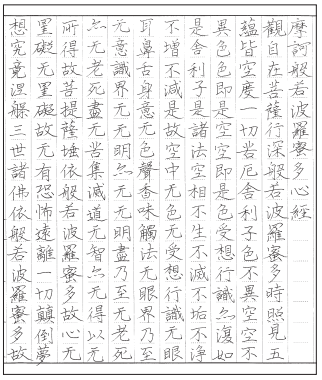
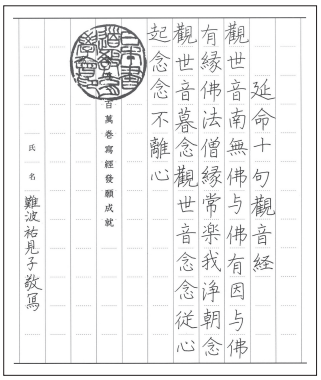
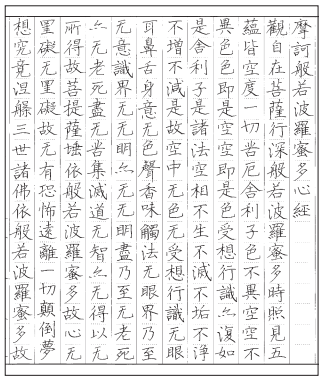
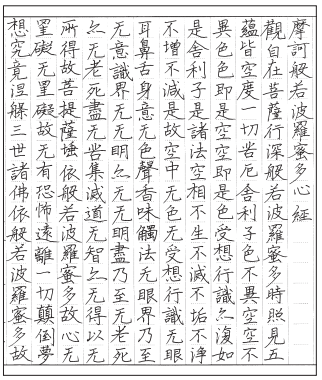
為心願成就

小山田美恵敬寫

小山田美恵

クラウザー章悠

安部　寿子

横田　啓子

鹿島　栄子

竹入　絹代

田島由美子

堀尾　敏清

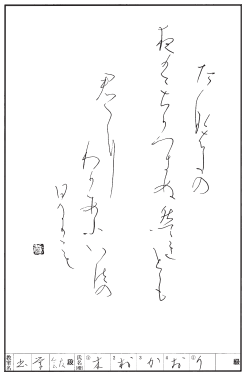
小倉理津子

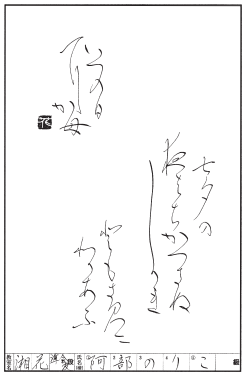
難波祐見子

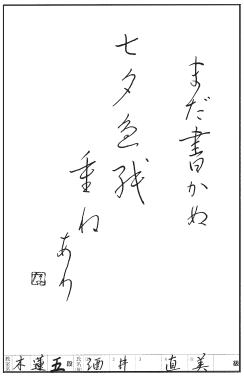
渡邊　歌子

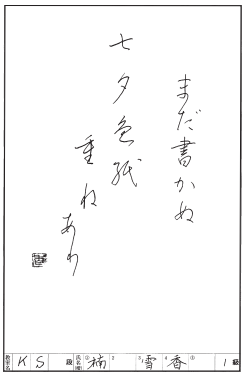
宮本美由紀

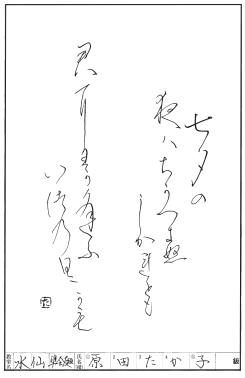
今月の優秀作品

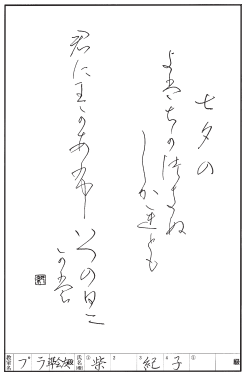


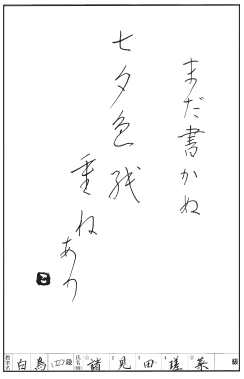


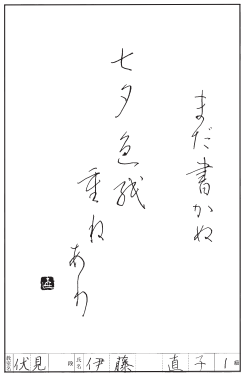


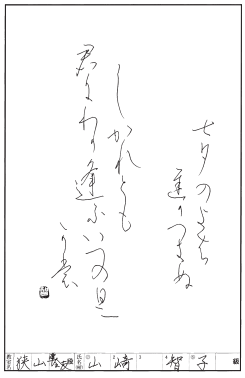


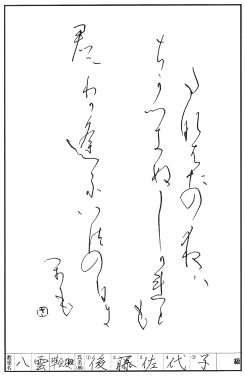


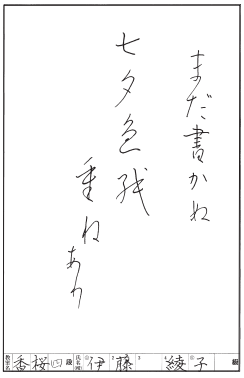


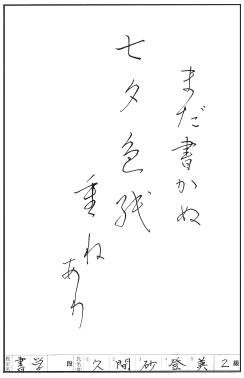


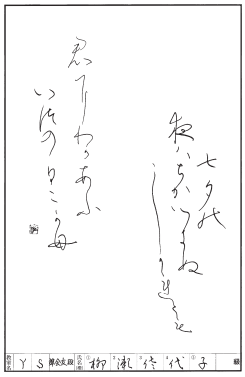


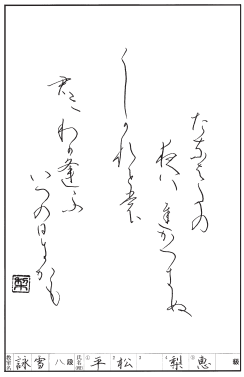


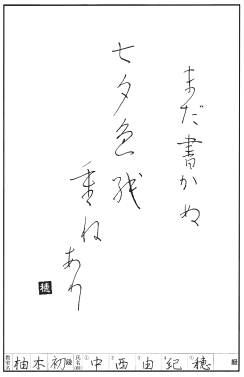


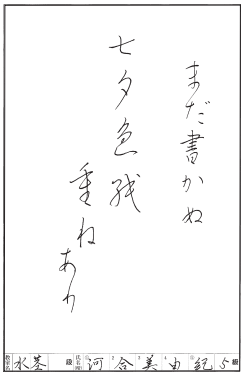


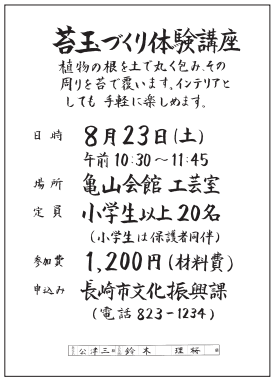




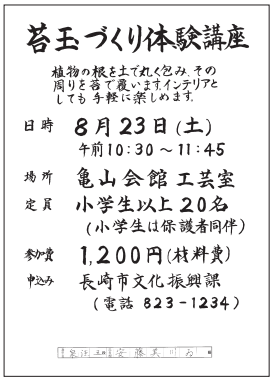




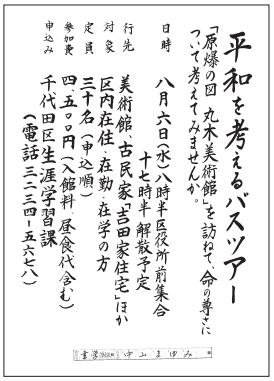




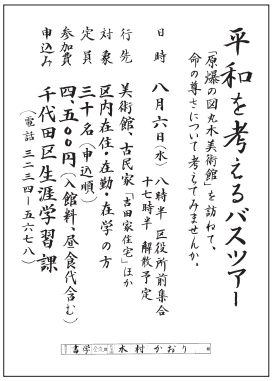
鈴木　理桜



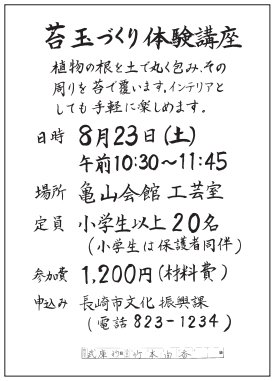
安藤美川ね



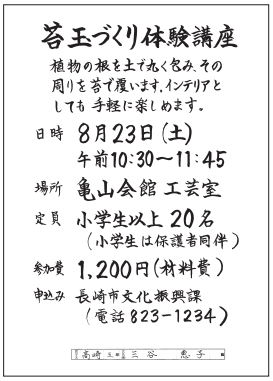
中山まゆみ



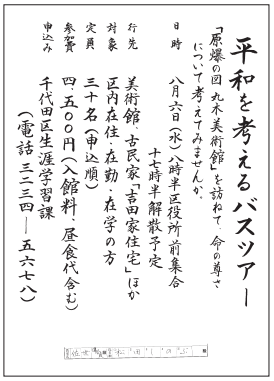
木村かおり



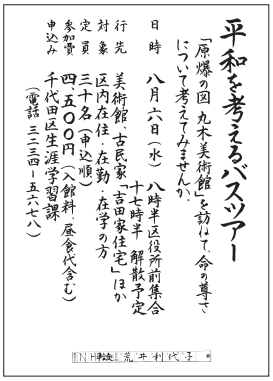
竹本　由香



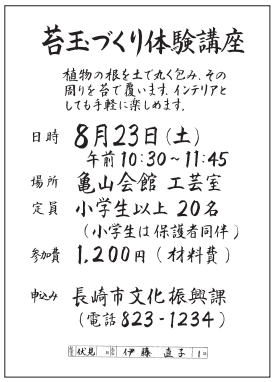
三谷　恵子



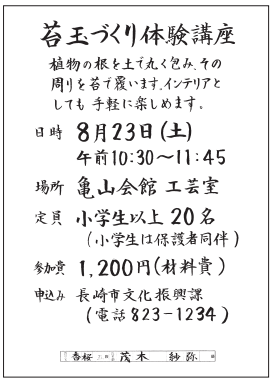
松田しのぶ



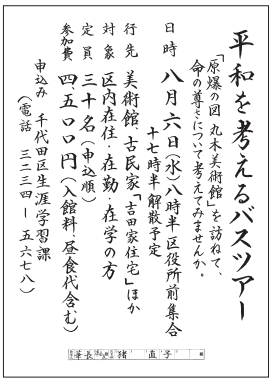
荒井利代子



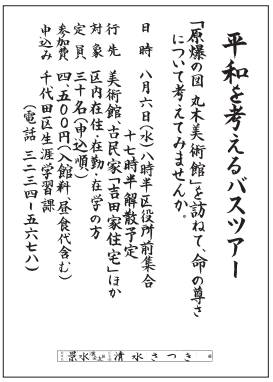
伊藤　直子



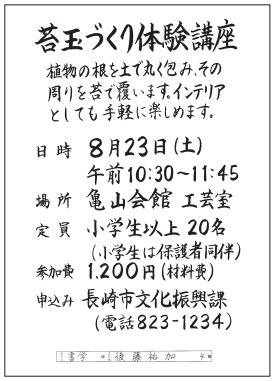
茂木　紗弥



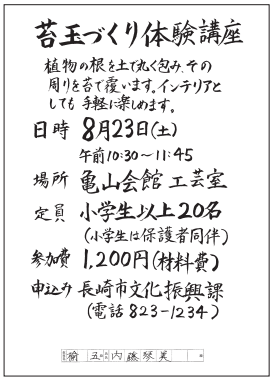
猪　直子



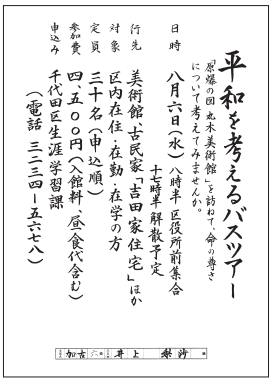
清水さつき



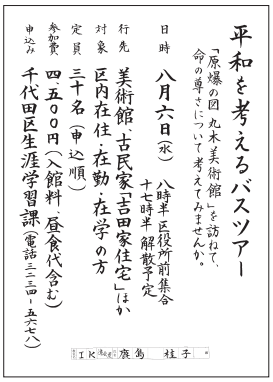
後藤　祐加



内藤　琴美



井上　梨沙



鹿島　桂子

今月の優秀作品

フジ　四段　峯　愛

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

横浜　柳　美智子

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

河内　沖山　隆子

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

高崎　初段　吉田　容子

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

里香　八段　畑　"ひとみ"

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

清芬　春原　英子

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

栄道　穴沢　愛子

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

チヨ　三段　石島　徳子

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

香桜　澤水　清香

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

玉城　中川　昌代

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

久我　五段　二宮　祥葉

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

近衛　島岡　啓子

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

紅煌　竹田　櫻香

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

三劍　四段　苅間澤　勇人

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向二ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

石朝　中垣　純代

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

さら　西川　晶子

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑、お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

香桜　四段　伊藤　綾子

〒194-0034　町田市根岸七ー六ー二　鈴上翔太様
都留市日向三ー五　桃谷菜津　4028249
残暑お見舞申しあげます　ご自愛をお祈りいたしております　令和七年立秋

大楠　志賀　美穂

古法による臨書が、絵画におけるデッサンと同様に、欠くべからざる重要性を持つようになり、さらに、そのデッサンとして臨書までが、会場芸術の一つの新しい産物として歓迎されるようになったことは、現代書道の特筆すべき事柄である。

今月の優秀作品